

中国 5 県休眠預金等活用事業 2020

公 募 結 果

■ 概要

選考結果	不採択
団体名	一般社団法人 百人邑
代表者名	竹添 憲治
申請事業名 主題	「生きづらさを抱える人に、土に触れながら働く農福連携の里山を通じて、社会復帰を目指す。」
申請事業名 副題	
エリア／テーマ	【広島県】 生きづらさを抱える人が、働くことを通じて自分らしく暮らすことができるサポート事業
解決すべき社会課題	② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援 ③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援 ④ 働くことが困難な人への支援 ⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援 ⑥ 地域の働く場づくりの支援 ⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
申請事業の概要	「生きづらさを抱える人に、土に触れながら働く農福連携の里山を通じて、社会復帰を目指す。」の取組みを通して、この社会に適応できる人材育成と個々の能力が育ち、働くことが楽しくなる「生きがい」を見出し、地域と協働しながら、安心・安全に暮らせるコミュニティづくりを目指します。 (ご家族⇄基幹相談支援施設⇄市町村を核とした社会資源の充実⇄自治体、NPO、企業との連携枠組みづくり) ・社会的孤立を解消し、社会復帰ができる支援活動 ・ハロートレーニング(障害者訓練)を通して、能力開発支援活動 ・地域を活性化する働く場づくりと安心・安全に暮らせるコミュニティづくり活動
事業実施地域	広島県西部地域(主に広島市及び近郊市町村)
申請事業期間	(開始月)2021 年 4 月～(完了月)2022 年 3 月
申請助成額	16,108,350 円 【内訳】直接事業費 13,627,000 円、管理的経費 1,800,000 円、評価関連経費 681,350 円

■ 審査コメント

- ✓ 助成事業終了後の誰がどのように事業を担うか明確でなく継続性に懸念を感じる。
- ✓ 事業計画、資金計画が不十分で事業の実効性に懸念を感じる。
- ✓ 中山間地域における多様性の拡充に取り組むことで、地域力向上を図ろうとする意欲的な提案と理解しました。里山の資源を組み合わせたプログラムも期待できると思います。ただ、本事業をハード整備目的と割り切られているようで、施設整備と活動内容のリンクについてのプロセスについても少し整理しておかれたほうが良いと思う。
- ✓ パンフレットや web 制作を通して、活動の価値を言語化し、発信して可視化し、更なる共感と信頼を得て欲しい。
- ✓ 農業+ICT という新しいカタチの A 型事業所。就労先も紹介可能な点は評価できる。
- ✓ 薬草による地域づくり、耕作放棄地の活性化、薬草文化の活性化といった農業による就労支援のアイデアは良いと思う。
- ✓ 1 年の事業となっており、その後の、継続について懸念を感じる。自己資金についても調達の検討が不十分と感じる。
- ✓ 中長期的な展望が見えれば評価も変わったと思う。
- ✓ 休眠預金を活用してハードを整備し、ソフト部分を他事業（制度事業等）と振り分ける合理的で理解できるが、ハード整備だけの企画では評価ができない。
- ✓ 全体のアウトカムに対して、施設整備がどのように影響するのかをもっと意識して書いてもらえば、この事業を応援する必要性、説得力が高まると思う。
- ✓ 団体が実施している取組は良いと思う。
- ✓ 広報、ハードに限定している事業設計になっている。出口戦略や計画が改善されれば評価を得られると思うが、休眠で考えると一部だけに充てることは難しいと思う。
- ✓ 1 年の事業ではあるが広報に力を入れるのは潔い。WEB を見たが、そこを強化したいのかと感じた。
- ✓ 自分たちの価値を言語化して発信することは重要。広報にも力を入れて更なる共感と信頼を得てほしい。
- ✓ 耕作放棄地、薬草文化、ニッチな活動に力を入れている。活動は良いと思っている。

中国 5 県休眠預金等活用事業 2020

公 募 結 果

■ 概要

選考結果	不採択
団体名	一般社団法人まちづくり四日市役場
代表者名	大島正彦
申請事業名 主題	「地域で孤立する人びとの生きがいと就労へとつながる事業」
申請事業名 副題	
エリア／テーマ	【広島県】 生きづらさを抱える人が、働くことを通じて自分らしく暮らすことができるサポート事業
解決すべき社会課題	④ 働くことが困難な人への支援 ⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援 ⑥ 地域の働く場づくりの支援 ⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
申請事業の概要	当法人は平成 27(2015)年に法人を設立し、古民家の保存(明治 43 年建設、敷地約1,270 平方メートル、母屋 1 階 53 坪、2 階 21 坪)と、地域課題の解決に関する事業に取り組んでいる。広島市「安佐北区の魅力向上と活性化補助金」、広島県共同募金会「地域テーマ募金」等の補助金を活用し、古民家の床面の全面張替え工事を行い安全な使用ができるように改修しながら、下記の活動を始めた。 活動は、①子育て支援・子どもの学習支援・交流、②認知症カフェ、サロン、③所属のない人の行き場づくり、④地区社協分室・相談事業、⑤フリーマーケット、「四日市役場まつり」など地域交流、⑥社会福祉法人八木園が運営する「喫茶テ・ミール」(障害者の働くコミュニティカフェ)、⑦地域のサークル活動等への会場提供など、である。 当法人の最大の意義は、古民家の伝統と空間を生かしつつ、まちづくり活動にかかわる住民、ボランティア、行政機関、関係機関のプラットフォームとして機能しているところである。
事業実施地域	広島市
申請事業期間	(開始月) 2021 年 5 月～(完了月) 2024 年 4 月
申請助成額	18,240,000 円 【内訳】直接事業費 15,060,000 円、管理的経費 2,580,000 円、評価関連経費 600,000 円

■ 審査コメント

- ✓ 古民家の改修と本事業の関連性が低い。社会的課題解決に向けて何に取り組むが読み取れない。
- ✓ 活動の経緯をみる限り、地域との協働で自律的な運営がなされてきた様子が伝わり、プラットフォームとなるハード・ソフトの充実を図ろうという趣旨、計画には共感します。ただ、運営体制がボランティアの方のみという点が、事業管理の面で懸念点です。
- ✓ 外部担当が多い点で実施体制が不安定なところが気になるが、当事者の主体性を大切にする新しいカタチともいえる。
- ✓ 関わってくれている住民の方やボランティアさんのマネジメントをどのようにしているのか知りたかった。
- ✓ 社団は「人の集まり」なので、外部担当には社員になってもらうことはできないか。広報担当も外部だが、この体制でよい発信ができるのか懸念がある。
- ✓ 地域の中で、これまでの活動を細く長く続けていくほうが良いのではないか。
- ✓ 古民家の改修というのが、どのように生きつらさの解消につながるか読み取れなかった。
- ✓ 専属の職員がおらず、人が何となく集まることにゆだねている印象を受ける。
- ✓ 活動には共感できるが、本事業のテーマとはずれているように思える。
- ✓ 組織基盤づくりを頑張ってほしい。
- ✓ 地域と協働されて、地域主体で運営してきた様子が申請書から伝わる。こうしたと良く身を通じて様々な地域課題解決力を高めるのは評価できる
- ✓ ボランティア中心の運営となっており、大きなお金を扱う際の事業管理について懸念がある。

中国 5 県休眠預金等活用事業 2020

公 募 結 果

■ 概要

選考結果	不採択
団体名	株式会社グローバルキャリア研究所
代表者名	久田 数枝
申請事業名 主題	女性が自分らしく働くためのサポート事業
申請事業名 副題	
エリア／テーマ	【広島県】 生きづらさを抱える人が、働くことを通じて自分らしく暮らすことができるサポート事業
解決すべき社会課題	④ 働くことが困難な人への支援 ⑥ 地域の働く場づくりの支援
申請事業の概要	1. 経済的困窮を解消するため就職を支援しエンパワーメントの場を作る ・キャリアコンサルタントの配置、キャリアカウンセリング(オンライン相談) ・求人検索のための PC やプリンタの設置、就活ツールの配備 ・安心して自分のことに集中できる環境づくり、居場所づくり 2. 女性が地域社会で活躍できる職業紹介「仕事づくり」 ・女性に活躍してもらいたい企業や事業所の求人開拓 ・市内近郊の人手不足が慢性化している求人企業や事業所に訪問し、人材採用コンサルティング、女性が働きやすい職場か確認、どんな取組をしているのか等ヒアリングして仕事を紹介する ・職場訪問等、職業理解のための伴走型サポート 3. 心理的疲弊と不安の解消、メンタル不調の支援 ・心理カウンセリング(オンライン相談) ・休業手当、休業支援金等の支援策の情報ガイダンス
事業実施地域	広島県広島市、福山市近郊
申請事業期間	(開始月)2021 年 6 月～(完了月)2024 年 1 月
申請助成額	17,850,000 円 【内訳】直接事業費 16,000,000 円、管理的経費 1,000,000 円、評価関連経費 850,000 円

■ 審査コメント

- ✓ 事業計画の具体性が十分でないと感じる。

- ✓ 就労を支援する他団体と事業のすみ分けが整理されていない。
- ✓ マザーズなどの取り組みと「内容」「対象」などがどのように異なるのか、提案から十分読み取れない。
- ✓ 女性特にひとり親女性の困窮対策は急務であり、目的には共感します。ただ、提案内容が目的達成につながるというイメージをもちにくかったです。
- ✓ 事後の女性キャリアコンサルタント育成講座もよいことと思いますが、事業としての流れで見たときに、唐突な印象を受けます。
- ✓ 本業との違いがわからない。
- ✓ 一般的な就労支援する団体との住み分けを感じなかった。
- ✓ 既存の公的サービスとの住み分けがわからない
- ✓ 目的は共感できるが、達成のための構成になっているかイメージできなかった